

令和7年度 中学生の「税についての作文」

柏税務署管内納税貯蓄組合連合会 ・ 柏税務署

柏税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

税金が支える医療と福祉

私は最近、税金の大切さを身近に感じるようになりました。家族や親戚が病気になり、医療や介護のサポートを受けている中で、税金がどれほど私たちの生活を支えているのかを実感しました。

最近私の家族の中で最も大きな影響を受けたのは祖母です。数ヶ月前、祖母が病気になり、入院してしまいました。その後回復し、治療は終わったのですが、家での生活が難しかったため、介護老人福祉施設に入所することになりました。病気や老化による体力の低下は、私たちの家族にとっても大きなショックでした。しかし、介護施設に入ることで、祖母は必要なケアを受けることができ、家族も安心することができました。

祖母が今後利用する介護サービスや施設の費用の一部は、私たちが払う税金によって支えられていることに気づきました。税金は治療や福祉のサービスに使われ、必要な人々がその恩恵を受けることができるのです。私はこのような仕組みがあるおかげで、病気の祖母と一緒に生活する祖父も安心して過ごすことができたのだと思います。

また、私の家族や親戚が抗がん剤治療や人工透析を

受けていることもありました。抗がん剤治療や人工透析は長期的な治療が必要なため、経済的に大きな負担がかかります。そこで、高額医療費制度を利用し、治療費の一部が減免されたそうです。この制度も、税金があるからこそ成立している仕組みで、所得に応じて医療費が調整されるため、誰でも平等に質の高い医療を受けることができるのです。

高額な医療費が必要な場合でも、税金によってその負担が軽減され、多くの人々が安心して治療を受けられることができるのは、税金の大切な役割です。もし税金がなければ、このような支援を受けることはできなかつたかもしれません。私たちが税金を納めることで、国全体が健康で暮らしやすくなる仕組みが成り立っているのだと実感しました。

税金は、私たちが日常的に使う物やサービスだけでなく、命に関わる重要な医療や福祉にも使われています。私はこれからも、自分ができる範囲で税金を納めることの大切さを理解し、社会の一員として貢献していきたいと思っています。

税金があつてこそ、私たちが平等に医療や福祉を受けることができる。私の身近な体験を通して、その重要性を改めて感じました。これから、多くの人たちが安心して暮らせる社会を支えるために、税金がどれほど大切かを忘れずに生きていきたいと思っています。

